

原子力災害時のバス及び福祉タクシーによる 緊急輸送等に関する協定について

島根県防災部原子力安全対策課

原子力災害時の避難の考え方



ピー・エー・ゼット

PAZ (発電所から約5km)

対 応：放射性物質放出前に避難
避難先：大田市及び奥出雲町

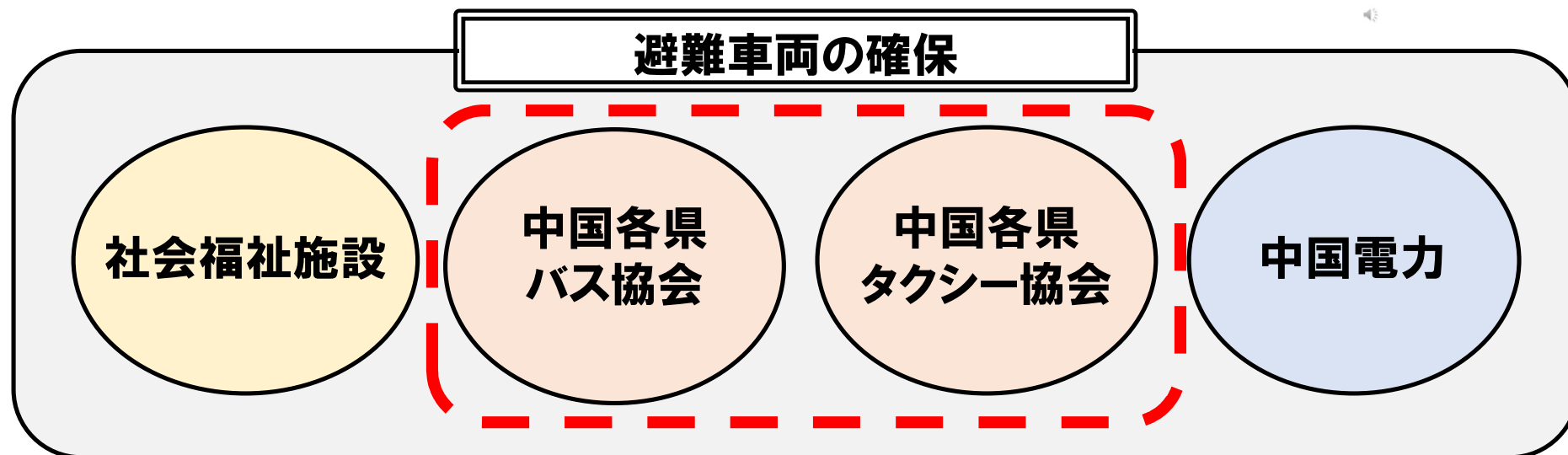
ユー・ピー・ゼット

UPZ (発電所から約5～30km)

対 応：放射性物質放出に備えて屋内退避
放射性物質放出後は放射線量を計測して避難が必要な地区を特定
避難先：島根県内、岡山県、広島県

避難に必要な車両の確保

- 避難に当たっては、多くの住民が自家用車により避難することを想定
- 自家用車での避難が困難な住民に対する避難手段の確保が必要
- 避難に必要となるバスや福祉車両は、県が関係機関の協力を得て、確保
- 県では、中国各県バス協会、タクシー協会との協定締結や中国電力による車両配備等といった枠組みづくりを実施



原子力災害時等における緊急輸送等に関する協定及び要請要領

バス協会（平成29年4月17日）

鳥取県
バス協会

島根県
旅客自動車協会

岡山県
バス協会

広島県
バス協会

山口県
バス協会

緊急輸送等の要請要領
（平成30年10月5日）

タクシー協会（平成29年7月24日）

鳥取県
タクシー協会

島根県
旅客自動車協会

岡山県
タクシー協会

広島県
タクシー協会

山口県
タクシー協会

緊急輸送等の要請要領
（令和元年7月1日）

島根県

鳥取県

協定等の概要

協定

1. 目的

原子力災害時等に島根県及び鳥取県が中国各県バス協会の協力を得て、その会員のバスによる緊急輸送等の協力を求めるときの必要事項について定めるもの

2. 協力要請の基準

実施による被ばく線量の予測が1 mSvを下回る場合

3. 協力要請する業務

- ・避難住民等の輸送業務
- ・その他県が必要とするバスによる支援業務

4. 費用負担・補償

- ・実施に要した費用は要請した島根県が負担
- ・実施に伴って生じた損害は、島根県が補償（損害保険による保険給付、原賠法に基づく原子力事業者等による賠償など、他の補償を受けられる場合等を除く）

5. 必要な資機材の確保や研修の実施

県は、必要な資機材（個人線量計、防護資機材等）の確保や放射線等の知識習得のための研修等を実施

要請要領

1. 目的

協定に基づき、島根県及び鳥取県が中国各県バス協会会員による住民避難のための輸送を要請するに当たっての手順等を定めるもの

2. 原子力災害に備えた事前準備

- ・県による防護資機材の整備や研修の実施
- ・県・協会・各会員の連絡体制の整備や資料の提供

3. 原子力災害時等における対応

- ・事故状況等の連絡及び円滑なバス運行のための措置
- ・放射性物質放出前におけるバス避難（警戒事態、施設敷地緊急事態、全面緊急事態）
- ・放射性物質放出後におけるバス避難
- ・業務報告

4. 経費の支払等

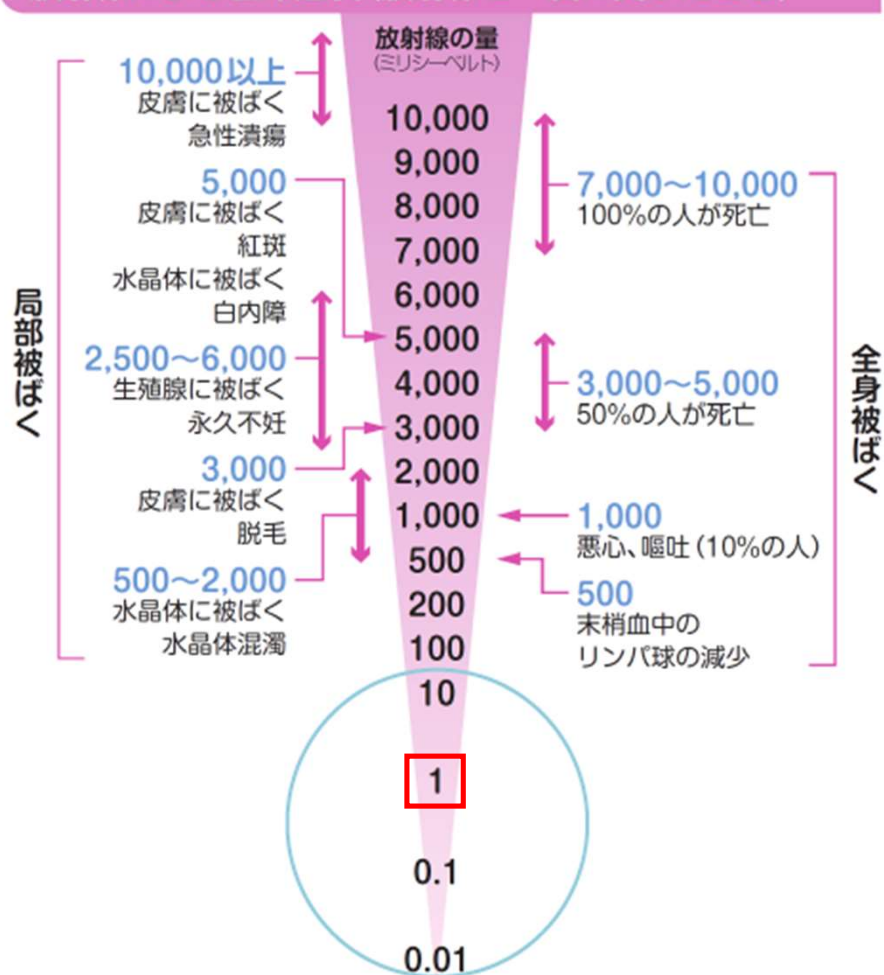
- ・経費の支払い
- ・損害の補償

5. 各種様式

- ・協力要請書、協力報告書、被ばく線量管理帳簿

〔参考〕放射線による人体への影響

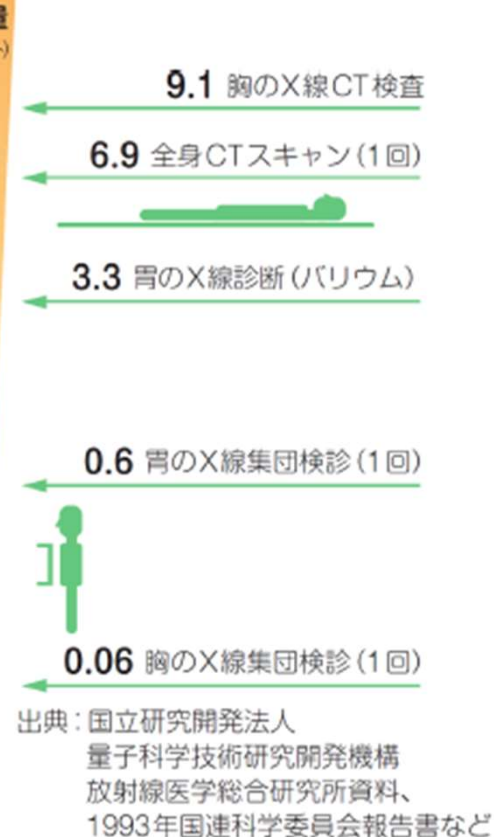
放射線による臨床症状 (放射線を一度に受けたとき)



自然界で受ける放射線



医療で受ける放射線



〔参考〕防護資機材



防塵マスク

防護服

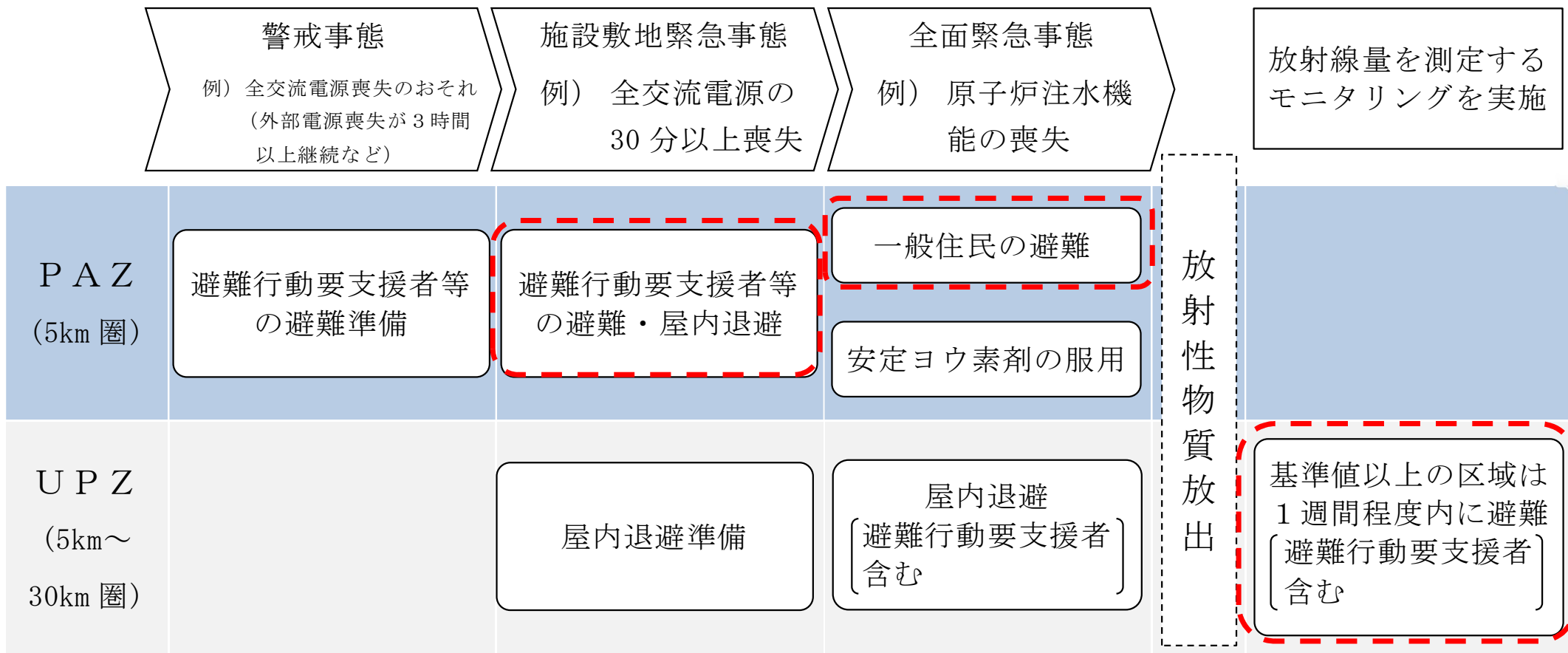
内：手袋
外：ゴム手袋

シューズカバー



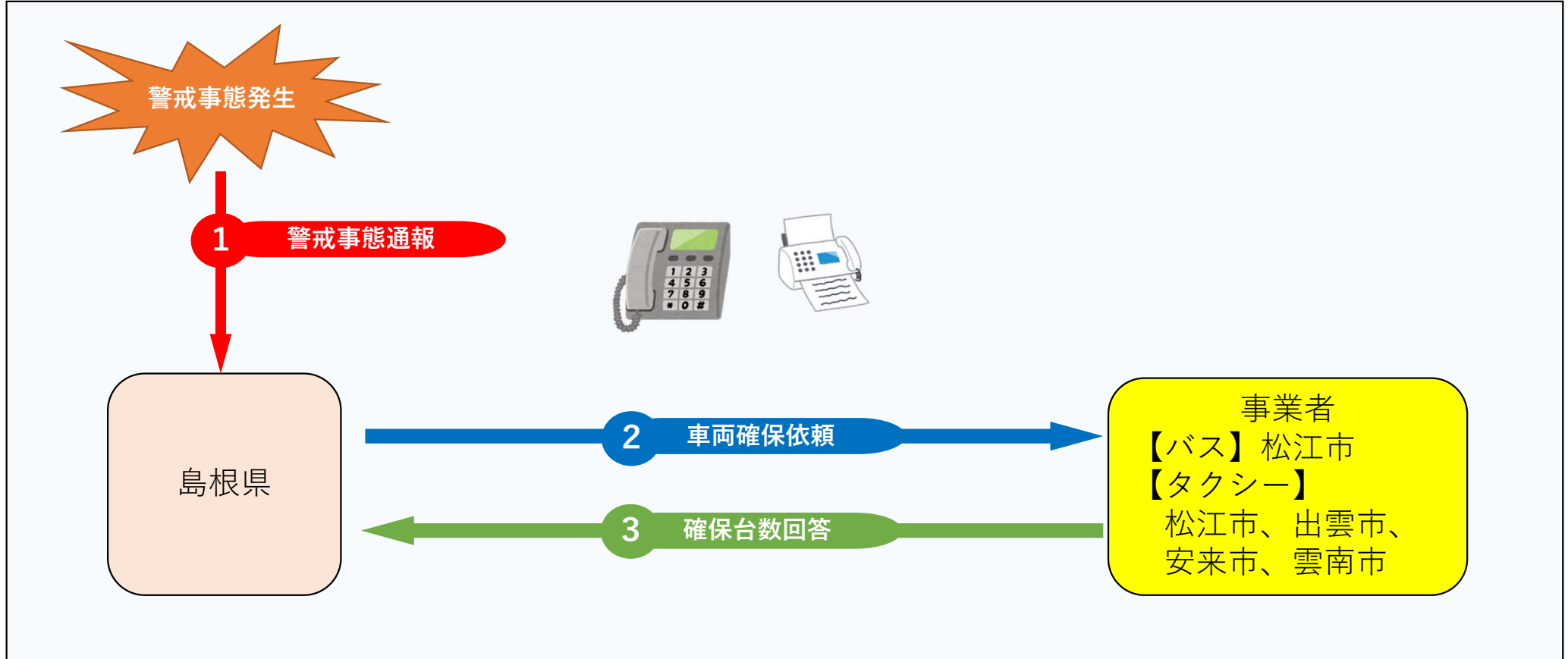
個人線量計

協力要請について

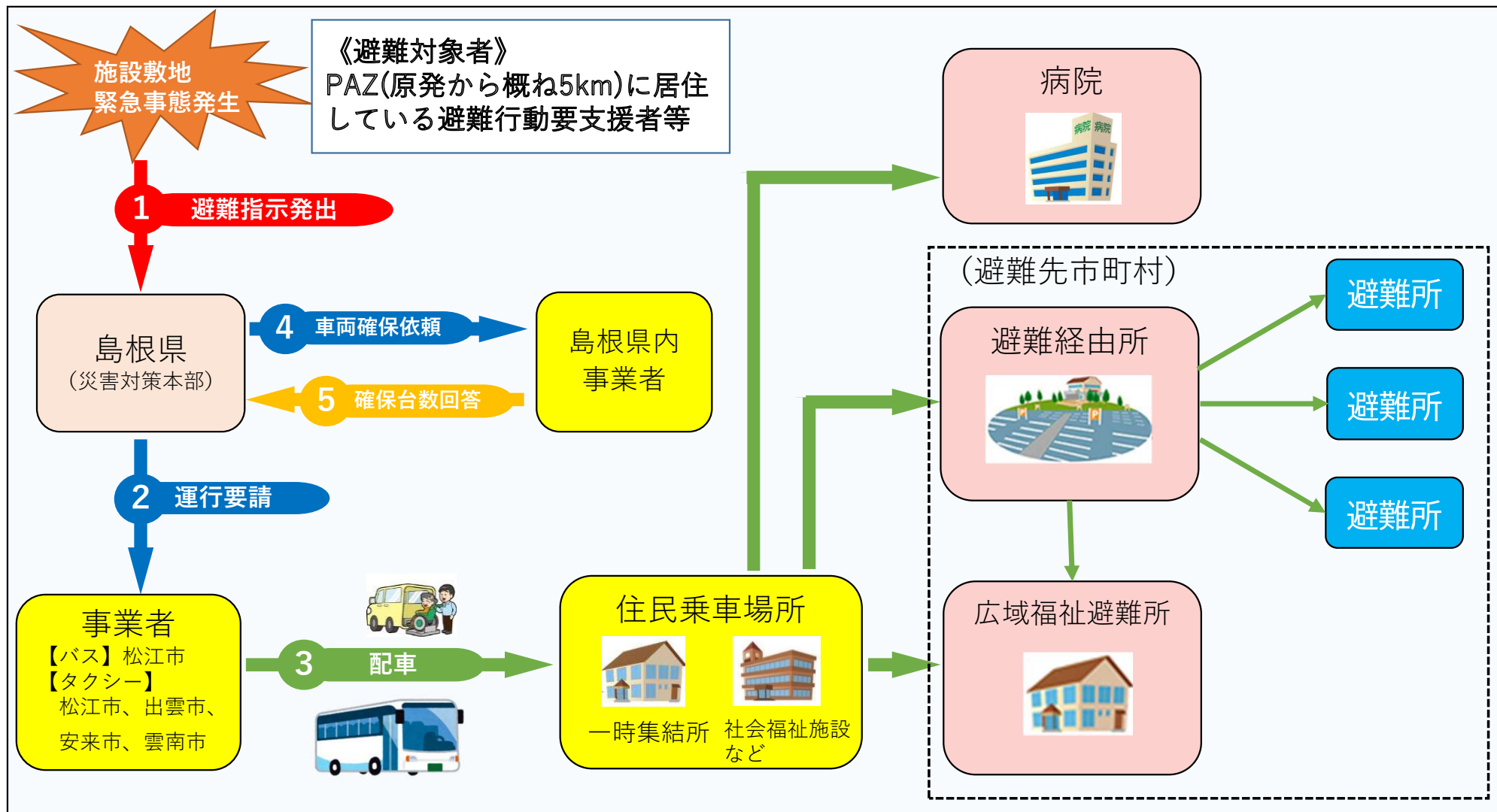


避難行動要支援者：要配慮者（災害対策基本法第8条第2項第15号に規定する要配慮者）のうち、災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要するもの

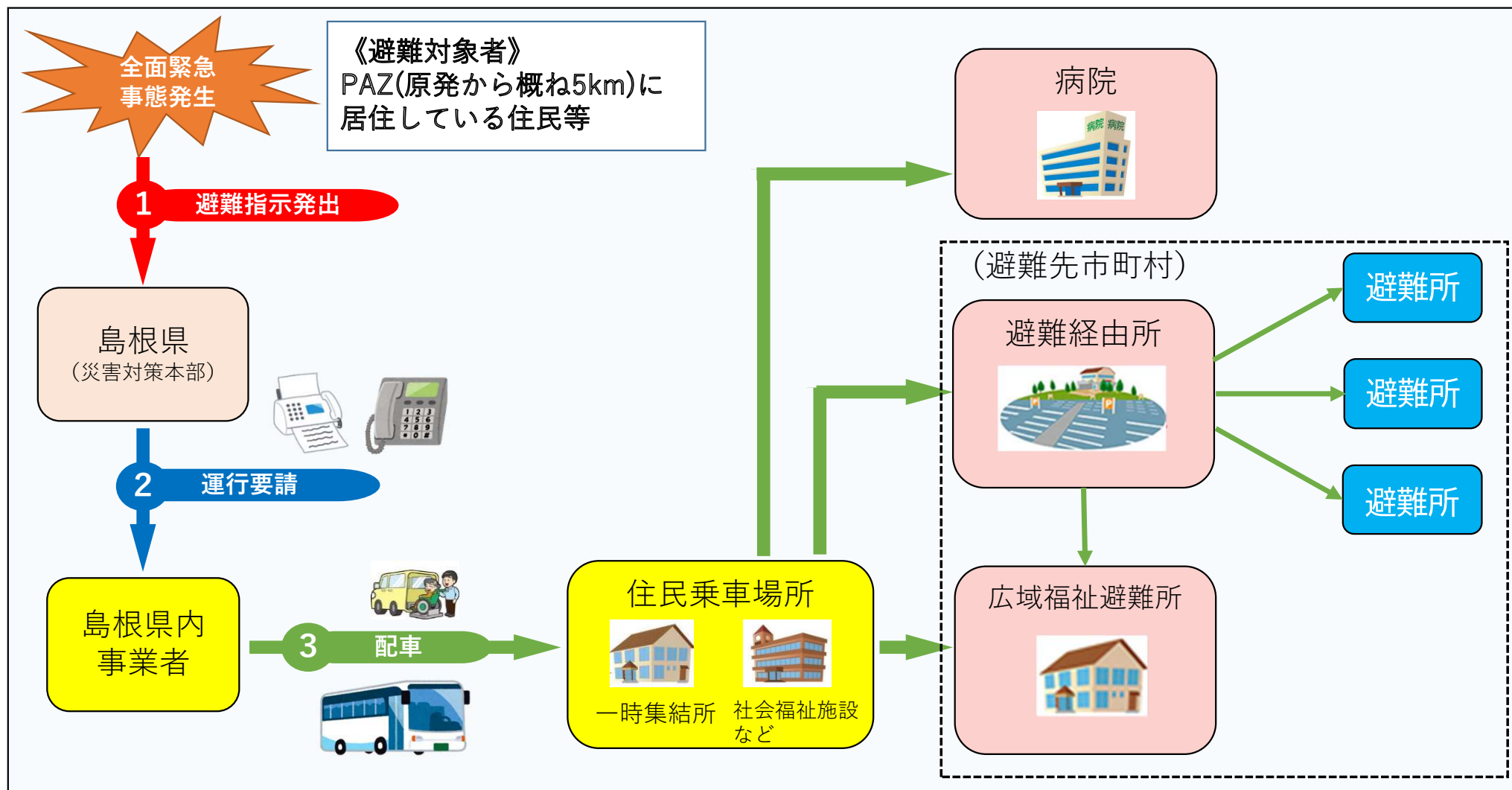
事態の進展に応じた対応（警戒事態（AL））



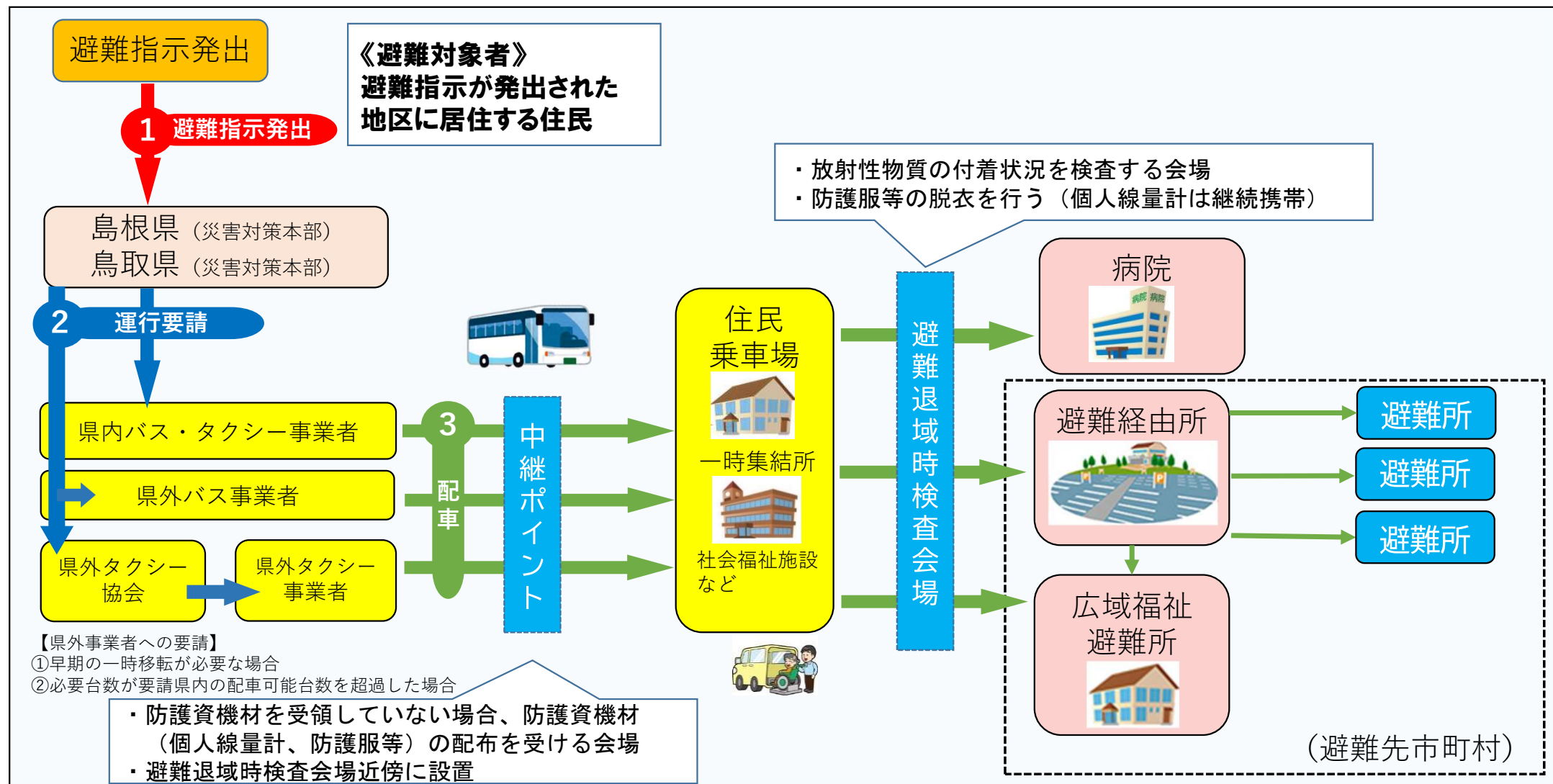
事態の進展に応じた対応（施設敷地緊急事態（SE））



事態の進展に応じた対応（全面緊急事態（GE））

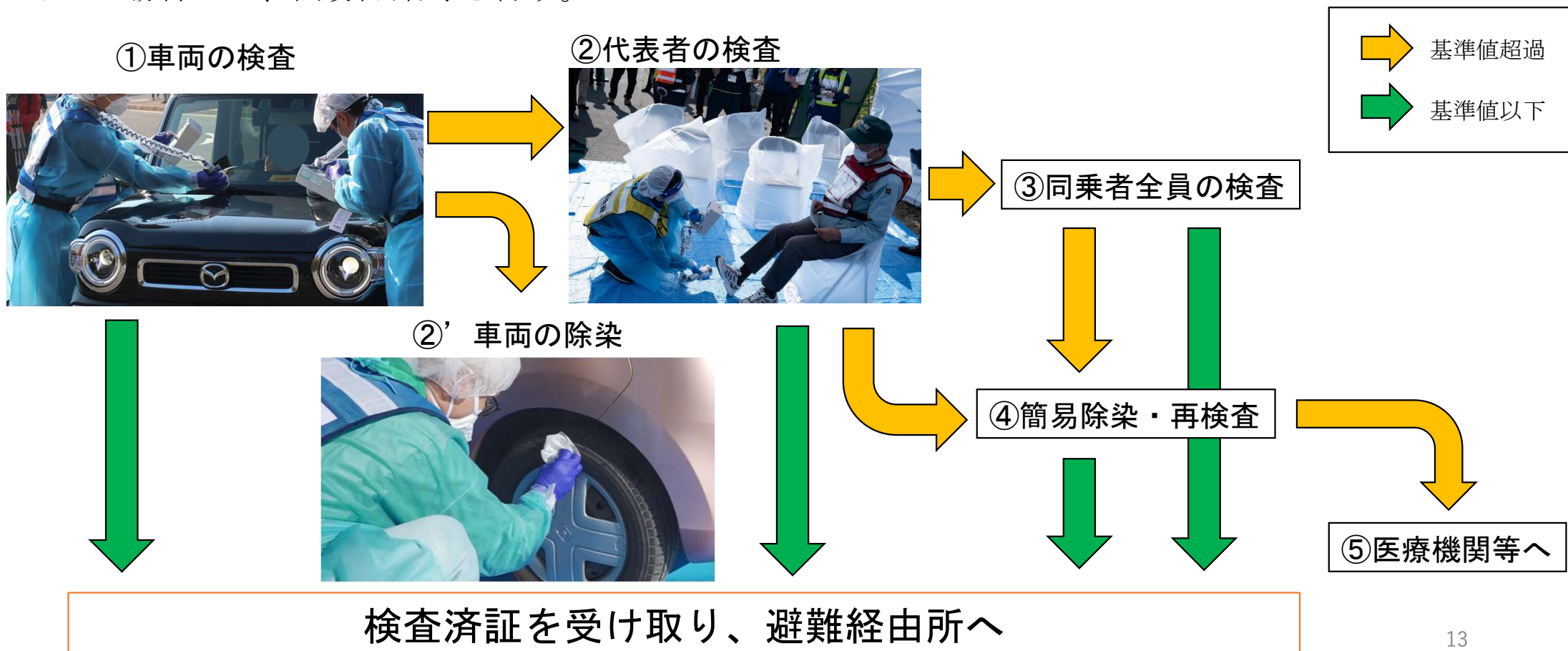


事態の進展に応じた対応（放射性物質放出後）



【参考】避難退域時検査

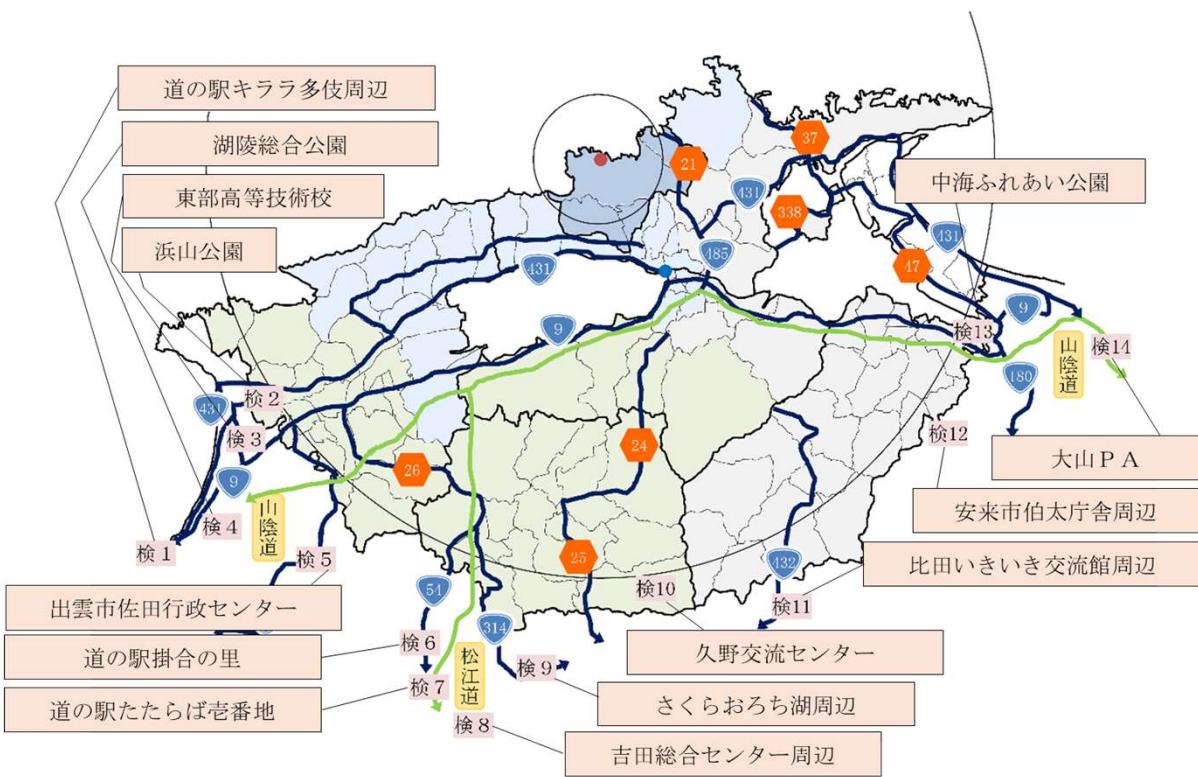
原子力災害時に避難等を行う住民は避難経路所へ向かうため、避難退域時検査会場で放射性物質による汚染状況を確認し、検査済証を受け取る。ただし、検査の結果、除染を行う基準を超える汚染があった場合には、簡易除染等を行う。



【参考】避難退域時検査

検査場所等

避難退域時検査は、広域避難する多くの住民等の検査が実施でき、可能な限り放射性物質放出による影響が低い所で行うことが望ましいことから、原発から30kmの境界付近から避難所等までの避難経路周辺の14か所を候補地として設定



	検査会場
1	道の駅キララ多伎周辺
2	浜山公園
3	東部高等技術校
4	湖陵総合公園
5	出雲市佐田行政センター
6	道の駅掛谷の里
7	道の駅たたらば壺番地
8	吉田総合センター周辺
9	さくらおろち湖周辺
10	久野交流センター
11	比田いきいき交流館周辺
12	安来市伯太庁舎周辺
13	中海ふれあい公園
14	大山PA



- ◆島根県では、協定に基づき、各事業者の皆様に放射線や放射線防護に関する基礎知識などを習得いただくための研修を引き続き実施していきます。
- ◆今後とも、皆様のご理解・ご協力をお願いします。